

氏名：室井 一秀



派遣元：福島県白河市

派遣期間：H25.4.1～H27.3.31

所属先：総括担当

OJT研修についての感想

・総括担当という中で、国の1部署の総括的な業務、例えば国会対応や記者会見対応等、様々な業務を経験させていただいております。派遣元はあまり大きな自治体ではありませんが、特に記者公表等の広報の方法については、多くを学ばせていただいております。派遣元へ戻った後でも、日々の業務に生かしていきたいと考えております。

また、防災担当については、国土交通省をはじめとして、様々な省庁・自治体・民間から派遣されている方が多く、日々の業務を通じて、それらの方々と交流できることに大きな意義を見出しております。これらのつながりが後に大きな力になると確信しております。

氏名：村上 晋平



派遣元：高知県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：総括担当

OJT研修についての感想

・私は今年度4月から高知県庁より派遣されています。高知県は南海トラフ巨大地震では大きな被害が予想されることから、派遣元はもちろん、私自身も大きな関心を持って、日頃の業務に当たっております。私が所属しています総括担当は、内閣府内、他省庁、自治体、外部団体等との窓口業務も行っており、様々な組織や考え方に触れることができ、そのことにより貴重な経験ができていると思っております。また、部局内でも職員を含め他省庁、自治体、民間等から派遣された人が多いのですが、防災対策という国の重要な業務を担っているという気持ちから大きな連帯感があり、そのつながりは異動後も大きな財産になると考えています。

氏名：大木 壮太郎



派遣元：静岡県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：総括担当

OJT研修についての感想

・私は、4月に静岡県庁から派遣され、政策企画・法制担当として、主に法令・政策等についての各種照会に対する窓口業務を担当しています。

窓口担当として、多岐にわたる政府の防災政策を概括することができたこと、また、法令担当として、大幅な改正がなされたばかりの災害対策基本法に関する照会に対応するため、法改正を担当された方から直接、法の解釈等について学べたことは、今後、県に戻り危機管理部局で勤務する上で大いに役立つものと思います。静岡県庁からは、十年以上前から継続して研修員が派遣されており、今後、私もその一員として、国・県のパイプ役となり防災政策の向上のために努めていきたいと考えています。

氏名：三輪 巨



派遣元：日本通運株式会社

派遣期間：H24.4.6～H26.3.31

所属先：災害緊急事態対処担当

OJT研修についての感想

・私は平成24年4月から、政策調査員として内閣府（防災）に勤務しており、本研修にも参加しています。本研修では、単に防災業務の知識を増やすだけではなく、OJT等を通じて、国の防災施策に直接関わっています。私は、東日本大震災当時、指定公共機関（派遣元）の立場で、緊急支援物資輸送に携わりましたが、その際に得た経験や知識を、国の防災施策に活かすことができる機会をいただいたことは、大変貴重な、他では得難い経験です。国と指定公共機関は、自然災害発生時には密に連携し対処していくことが重要と考えていますが、その際には、本研修を通じて得た経験が必ず生きてくると確信しています。

氏 名：田口 元寿



派遣元：東京消防庁

派遣期間：H25.4.1～H27.3.31

所属先：災害緊急事態対処担当

○JT研修についての感想

・私は、本年度4月から東京消防庁より派遣され、2年間の実務研修に参加させて頂いております。これまで、多様な省庁の方々と、各行政分野における防災施策の取組について伺う頂く機会を得たほか、広域医療搬送訓練や他省実施の研修（施設等の実地踏査）への参加など、大変有意義な時間を過ごしています。特に、本年の東京都大島町における台風26号への対応では、「政府現地災害対策室」の立ち上げに従事し、消防庁、警察庁、防衛省、国土交通省等の方々と実務的な調整等に従事でき、非常に貴重な経験となりました。本研修での経験は、災害時における消防行政と他機関（行政）との連携などにとって、大きな糧になると確信しています。

氏 名：筒井 俊介



派遣元：長野県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：災害緊急事態対処担当

○JT研修についての感想

・4月に研修派遣されてから約2週間後、淡路島で地震発生。その現地調査への同行を皮切りに、5月連休中の質問主意書の回答作成、7月から10月の大雨・台風被害への対応、政府調査団派遣、総理視察行程編成等、多くの業務に関わってきました。

気が付けば、夏は過ぎ、秋は短く、木枯らしがどこかで吹いたとか。

こうした業務経験を通じて、身に付けたことがあるとすれば、全国の気象や災害に関する情報に目を向けるようになったことでしょうか。

このような私が防災スペシャリストと呼ばれるには、あまりに未熟で、いまだに学ぶべきことは多くあると感じています。しかし、そう感じていることも、この研修で得たことのひとつなのでしょう。

氏 名：山田 典彰



派遣元：中部電力株式会社

派遣期間：H25.7.1～H26.6.30

所属先：地方・訓練担当

○JT研修についての感想

・私は平成25年7月に中部電力株式会社より派遣され、本研修に参加しております。地方・訓練担当室では、東海地域広域連携防災訓練における政府現地対策本部訓練を始めとした、様々な訓練の実施に携わりました。また、災害時における物資物流の仕組み構築という、非常に重要で責任のある仕事を担当させて頂いております。さらには、政府調査団に随行しての被災現場の調査や、発災時の政府としての連絡員など、中部電力では決してできない業務を経験させて頂いております。本研修を通して得た知識や防災に対する姿勢、人との繋がりは、中部電力へ戻った後も、防災業務を中心に、様々な場面において活用できると感じています。

氏 名：千野 勇生



派遣元：神奈川県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：地方・訓練担当

○JT研修についての感想

・私は防災未経験での研修参加でしたが、内閣府防災や各省庁の防災業務に関する講義や国交大等の外部機関の研修の受講により、幅広く防災に関する知識を得ることができました。また、担当業務だけでなく、政府現地調査等の実際の災害対応にも携わることができ、とても貴重な経験を得ることができました。そのような中でも、やはり様々な人とのつながりを得ることができたのが一番の収穫であると感じています。同じ研修生や内閣府防災等の職員の方々、外部機関研修等とともに学んだ国や地方自治体の受講生の方々との「つながり」を大切にしながら、研修で得た「知識」や「経験」をこれからの神奈川県の防災業務に生かしていきたいと思っております。

氏 名：山岸 三四郎

派遣元：新潟県上越市

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：地方・訓練担当

○J T研修についての感想

・私は今年度4月から新潟県上越市より派遣され、本研修に参加しております。これまで、訓練担当として緊急災害対策本部事務局要員図上訓練や、広域医療搬送訓練等の実施に携わりました。いずれにおいても、関係省庁、地方公共団体等との密な連携や調整を要するもので、それらの業務にかかわることができたのは、市町村職員としては得ることのできない、大変貴重な経験となりました。また、中央省庁で働く方々の仕事ぶりに間近で触れることができたこと、同様に地方公共団体から派遣された方々と意識を共有できたことなど、本研修で培ったものは、市町村職員として戻った後も、日々の業務において大いに役立つものと感じています。



氏 名：神保 謙介

派遣元：東京消防庁

派遣期間：H25.4.1～H27.3.31

所属先：調査・企画担当

○J T研修についての感想

・私は今年度4月から東京消防庁より派遣されております。本研修では調査・企画担当で首都直下地震対策や大規模水害対策の検討に携わっています。私が本研修の一番の魅力と感じているのは、各種調査にあたり、関係省庁との連絡調整や実地でのヒアリングを通じてたくさんの方々を知り合うことができ、災害から国を守るという共通認識のもと力を合せて業務を推進できることです。そのほか、広域医療搬送訓練では現地名古屋空港において実オペレーションに参加できる等、災害発生時の国の動きを肌で感じることができ、今まで現場でしか活動していなかった私にとっては、非常に素晴らしい財産となりました。派遣元に戻った後も大いに役立つ経験だと思います。



氏 名：里村 雄

派遣元：福岡県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：調査・企画担当

○J T研修についての感想

・今年度4月より1年間、福岡県より派遣され、本研修に参加しております。担当している業務としては、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループや首都直下地震対策ワーキンググループの会議の運営等に携わりました。会議では最終報告を出すところに携わることができ、国の施策が進んでいくところを直に見ることができました。また、その最終報告が全国紙の一面で大きく報道され、国の業務の影響の大きさを体感することができ、大変貴重な経験になりました。

本業務で培った知識や経験を県に持ち帰り、日々の業務を役立てることができるよう、まだまだいろんなことを吸収したいと考えています。



氏 名：倉島 裕子

派遣元：日本郵便株式会社

派遣期間：H25.6.1～H25.10.31

所属先：防災計画担当

○J T研修についての感想

・私は指定公共機関の一つである日本郵便(株)から、本研修に参加しています。OJTでは、国の防災の基本となる防災基本計画のあり方に関する検討や、船舶等を活用した海からの災害医療提供の可能性を検証する仕事等に携わっています。日本郵便(株)でも、東日本大震災の発生以降、防災業務に従事していましたが、今回新たに国の防災対策を学ばせていただき、防災に関する知識や経験の幅を広げることができました。日本は災害の多い国であり、有事の際の円滑かつ迅速な災害応急対応のためには、日ごろから国と企業が互いの情報を共有し、官民一体となって防災に取り組むことが重要だと考えますので、このような研修は、国と企業の相互理解の場として非常に有意義なものだと感じております。



氏名：大江 伸一郎

派遣元：兵庫県

派遣期間：H24.4.1～H26.3.31

所属先：普及啓発・連携担当

○JT研修についての感想

・私は、兵庫県より2年間の予定で派遣され、研修に参加しています。内閣府(防災)では、普及啓発・連携担当に配属いただき、国際防災協力を担当しています。主な業務は、日本国内での国際防災会議の開催や、世界各国での開かれる国際会議への参加等です。業務の特性として海外出張の機会も多く、中には副大臣や政務官といったハイクラスの海外出張という大変重要な業務も担当させていただいています。外務省や現地大使館とも緊密に連携して、防災分野での国際協力に携わった経験は、今後の県庁業務においても、必ず活かすことができると確信しています。



氏名：渋谷 聡子

派遣元：宮城県仙台市

派遣期間：H25.4.1～H27.3.31

所属先：普及啓発・連携担当

○JT研修についての感想

・今年度から宮城県仙台市より派遣され、本研修に参加しています。現在、普及啓発・連携担当に配属され、国際防災協力業務を主に、防災白書や広報誌の編集携わっています。国際防災協力の業務では、日本の防災を学びに来る海外要人と研修生の受け入れや、国際会議への参加等を行っており、国内外の災害や防災について日々学ぶことが多く、大変貴重な経験となっております。また、中央省庁で働く方々の業務の進め方を拝見していると、勉強になる点が非常に多いです。派遣期間が終了し、市に戻った際には、本研修で得た知識と経験を存分に発揮し、市政に役立てられればと思います。



氏名：加藤 潔志

派遣元：愛知県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：被災者行政担当

○JT研修についての感想

・私は今年度4月から愛知県より派遣され、本研修に参加しております。被災者行政担当においては、住家の被害認定基準運用指針、被災者生活再建支援制度、被災者の住まいの確保策検討に係る業務に携わっています。住家の被害認定基準に係る業務は、H21、22年度に愛知県で担当しておりましたが、実災害の経験もなく、概要を理解している程度でしたが、内閣府においては、実災害に対応している自治体からの問い合わせもあり、実務に役立つ正確な知識を身につける機会となっております。また、全国各地で次々と発生する災害への対応、深夜に及ぶ国会対応など中央省庁で働く方々の苦労の一部を共有できたことは貴重な経験でした。



氏名：鬼塚 宏一

派遣元：茨城県つくば市

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：被災者行政

○JT研修についての感想

・被災者行政担当の中で、避難行動要支援者関係の業務をさせていただきました。その中で、取組指針の策定に関わらせていただき、関係省庁や関係団体の方々から話を聞く機会をいただいたり、市町村職員として、意見をだす機会をいただけたことは、貴重な経験だと思います。また、災害対応や国会対応などの中央省庁での仕事ぶりに間近で触れることができたことも貴重な経験になりました。業務や研修で知り合うことができた中央省庁や各種団体、地方公共団体の方々に、研修終了後ご指導いただき、情報共有などもできたらと考えています。顔の見える関係が築けたことで、広域災害対応が必要な場合など、スムーズな協力体制ができることと考えます。



氏 名：上原 篤士

派遣元：群馬県

派遣期間：H25.4.1～H26.3.31

所属先：事業推進担当



OJT研修についての感想

・私は今年度4月から群馬県より派遣され、本研修に参加しております。災害情報システム担当として、内閣府が運用している「総合防災情報システム」に関する業務に携わっております。この事務に従事して、災害発生時に被災状況を迅速かつ的確に把握し、関係機関間で防災情報を共有することの重要性、また、地図等の地理空間情報が情報共有の手段として大変有効であることを改めて実感しました。

防災情報の共有に対する課題やその取組（国民への情報提供、都道府県等との情報共有、ビッグデータの活用等）に直接触れることができたことは大変貴重な経験であり、県に復帰後、災害対応及び防災業務に活用できるものと信じております。